

大型クラゲ情報

青森県農林水産部水産局水産振興課
(地独) 青森県産業技術センター
水産総合研究所

今年度の大量出現の可能性は低い見込み

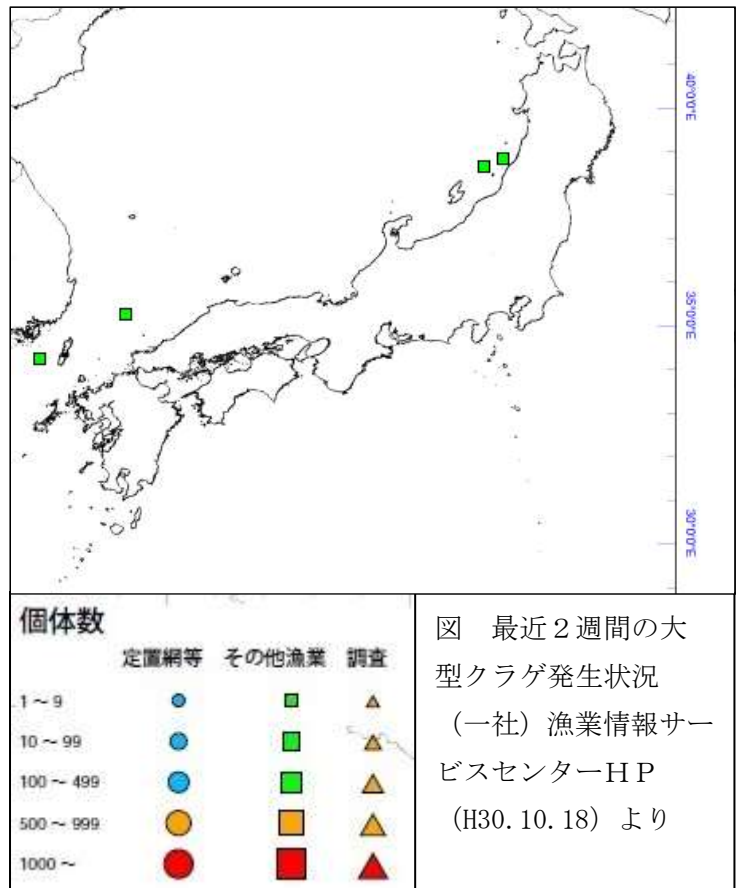
1 全国の出現状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構の情報によると、平成30年10月上旬に実施されたフェリーによる大型クラゲの目視調査で、青森県沖合において、10月3日に1個体、10月10日に1個体が目撃されました(別紙参照)。

また、山形県沖合における底曳網の操業で、10月5日、10日および11日にそれぞれ1個体ずつ大型クラゲの入網がありました。

いずれも出現頻度は低く、大量発現の可能性は低いと予測されています。

西日本においては、対馬海峡から日本海中西部海域にかけて操業中の底曳網では少量ながら入網が続いていますが、いずれもまとまった入網はなく、今年度の日本海周辺海域における大型クラゲの出現量は昨年よりも非常に少なく、大量出現の可能性は今後も低いと予測されています。



2 本県沿岸の出現状況

10月29日現在、本県沿岸では大型クラゲの入網は確認されていません。

※大型クラゲに関する最新情報が確認できますのでご活用ください。

<http://www.jafic.or.jp/kurage> ((一社) 漁業情報サービスセンター)

<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/> ((国研) 水産研究・教育機構)

<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2599> ((地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所)

http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/suisan_kuragetodo.html (青森県水産情報)